



横浜市立中和田中学校

学校だより

令和8年6月5日号

校長 松田 哲治

【学校教育目標】 自ら学び、自他を大切にして、社会に貢献する生徒を育てます

横浜市泉区和泉中央北二丁目5番1号 TEL 045-802-1301 FAX 045-805-4403

君たちは中学校生活をどう送るか

校長 松田 哲治

まるで、1937年に出版された吉野源三郎の小説か、宮崎駿監督によるアニメ映画のタイトルのようなが、今回の学校だより巻頭言で伝えたいことは、まさに「君たちはどう生きるか」ということである。

先週末の体育祭も中和田中生の活力あふれる姿がたくさん見られた。今年のスローガン「今日、勝ちに来ました」を、一人ひとりが、そして全てのクラスが体現しようとして一生懸命取り組んでいた。毎年感じることはあるが、特に3年生が競技に臨む姿には、最上級生としての自覚や、中学校生活最後の体育祭にかける思いが溢れ出ていた。クラスで声をかけ合い大縄跳びに取り組む姿、学級対抗リレーで最後まであきらめず走り抜く姿は、多くの1・2年生が「来年、再来年、あんな3年生になりたい」と感じたことだろう。それを象徴するかのような、閉会式であらためて2年の学年優勝が発表されたときの「賞賛の拍手」。中和田中入学後1年2か月の確かな成長を感じ、来年も楽しみになった。また、今年は保護者の皆さんも、PTA役員会を中心に大縄跳びで大活躍。素敵な光景とは裏腹に、あまり貢献できない校長で申し訳ない。今もまだ腰が…。



3年生の姿といえば、先月の17日(日)～19日(火)にかけて行ってきた長崎修学旅行で見られた表情・楽しそうに会話している様子思い出される。初日、経営再建に向けた長崎の地域振興への思いも感じながら楽しむハウステンボス。二日目、諸事情から全体とは別行動になり目にすることはできなかったが、平和祈念像の前で、参加した学年生徒皆で取り組んだ平和集会も立派な仕上がりだったと聞いている。市内の班別行動から宿舎に帰ってきた時の安堵した笑顔。「Peace to the Future 一継承・成長、そして平和へー」保護者の皆さんや緑学年をはじめとした中和田中教職員からの応援を受け、確かな学びと育ちがある中学校生活を送っていると感じられる三日間であった。



徐々に中学生になりつつある1年生。今後の見通しについて、少しずつ具体的に考え始めた2年生。そして、現実的になってきた新たなステージを見据える3年生。中学校の3年間は、小学校6年間の半分なのに、少年期に別れを告げ青年前期に差し掛かる「心身ともに大きく変容していく3年間」である。そんな中学校生活を、君たち一人ひとり、どう送るのか。これまでの多くの先輩たちの姿に学びながら、自分自身の未来をどう描くのか。日々、自分自身の生き方が問われている。